

会 議 録

会議の名称	第2回宍粟市都市計画マスタープラン検討委員会
開催日時	令和元年5月20日(月) 13:30~15:40
開催場所	宍粟市役所 4階 402会議室
議長	太田尚孝委員長
出席委員	学識経験者 : 太田尚孝委員 関係行政機関 : 尾下嘉春委員、植田吉則委員、鶴野 聡委員 市内関係団体 : 塚田清一委員、本條 昇委員、杉本憲昭委員、下川秀美委員、 船引英示委員、前野瑞恵委員、坂口雅彦委員、高井洋子委員
欠席委員	久保欽哉委員、土井景子委員
事務局職員	富田健次、太中豊和、石垣貴英、田中藤夫、小坂崇雄、原田 渉、田中翔吾 [策定業務受託業者] (株)地域計画建築研究所 岡本壮平、石川聡史、松下藍子
傍聴人数	0人
公開・非公開	公開
議題(案件)	議事1) 第1回検討委員会の主な意見について 議事2) 宍粟市都市計画マスタープラン改定について 議事3) 都市計画マスタープランの論点について 議事4) 都市計画マスタープラン策定スケジュールについて
会議資料等	宍粟市都市計画マスタープラン検討委員会委員名簿 第1回宍粟市都市計画マスタープラン検討委員会会議録 宍粟市(山崎)都市計画マスタープラン改定について 都市計画マスタープラン改定にあたっての論点 宍粟市都市計画マスタープラン策定スケジュール 山崎地区の景観形成地区の指定について 宍粟市都市計画マスタープラン基礎調査報告書 宍粟市都市計画マスタープラン市民アンケート調査報告書

議 事 の 経 過	
1. 開会 2. あいさつ	
3. 議事	<p>議事 1) 第 1 回検討委員会の主な意見について</p> <p>議事 2) 中央市都市計画マスタープラン改定について</p> <p>・事務局より資料の説明</p> <p>委員 私は具体的な施策よりも大きな方針を出すものと理解している。現行計画で計画したことがどうなっているのか検証はしているのか。</p> <p>事務局 このマスタープランは方針を決めていくものということ間違いはない。検証については、この次の回に論点としてお出ししたい。</p> <p>委員 現行計画の冊子に色が塗っている地図が 12 枚以上あった。今回もこういう図をつくっていくのか。</p> <p>事務局 言葉で方向性を示すが、地図上で表現したほうがわかりやすいこともあるので、今回も地図を出していきたい。</p> <p>委員 地図が多くてわかりづらい。商店街もずれているようだ。</p> <p>委員 現行計画の 99 ページの市街地整備の方針について、図の前に文章を書いている。図がないと、どこがどのように整備されるかわからないので、図があったほうがわかりやすい。</p> <p>事務局 検討する。</p> <p>議事 3) 都市計画マスタープランの論点について</p> <p>・事務局より資料の説明</p> <p>委員 ポイントの 1 つ目に「新たな計画、開発の進展への対応」とあるが、具体的にどのような新たな動きがあるのか。病院、学校やこども園など、これからどのように整備を進めていくのか。</p> <p>事務局 病院については令和 7 年度の完成をめざして、今からプロジェクトを立ち上げ進めていく予定。整備については、具体的な話にまで進んでいない。</p> <p> こども園は内部で話をしている段階だが、なかなか進捗がない。場所はまだ決まっていない。整備については地元と協議しながら進めていくことになる。</p>

委員	<p>現行のマスタープランの理念に「住みよい田園文化都市」とあり、現時点でも大きな変化はないと思う。</p> <p>また、論点としては市の特性、強みなど検討すべきと考えており、林業などの産業の視点をもう少し入れてもらってもよいのではないかと。</p>
事務局	<p>産業はどういうことをしていったらよいか見えていない状況である。今後検討していきたい。</p>
委員	<p>ポイント2つ目の「歩いて暮らせるまちづくり」について、役場や銀行にも行きやすい、便利なまちづくりが重要だと思う。徒歩と自転車を同じ位置づけで記載しているが分けたほうがよいのでは。山崎地区の中に産業（買いものなど）的要素も入れてほしい。また、山崎地区は景観の評価が高い。住民が愛着を持つという点で重要なポイントとなる。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、山崎地区に行くと歩いて買い物、銀行に行くことができる。次世代につながるまちづくりを重視したい。</p>
事務局	<p>今話題に出た景観に関する動きを説明させていただく。 （山崎地区の景観形成地区の指定について、資料の説明）</p>
委員	<p>山崎地区景観形成地区の資料について、2ページ目に地図があるが、今後の協議の中で、実態に即して若干変わると思う。このマスタープランの中でも一定の方向性の議論ができれば。</p>
委員	<p>7つのポイントを用意いただいているが、議論していただいている内容は何段階かに分けられる。コンセプト的なことと事業のことを同じレベルで記載しているから意見交換しにくいのでは。階層性を整理したらどうか。</p> <p>7つ目の「土地区画整理事業の廃止や、長期未着手の都市計画道路への対応」は、今後現行マスタープランの検証をする過程で課題が見えてくるのかと思う。</p>
事務局	<p>検討して整理する。</p>
委員	<p>山崎都市計画区域を対象とするということだが、旧山崎町ほとんどがかかってくる。広い印象がある。いろいろな整備や開発も落ち着いてきている状況で、広い地域を維持していけるか。</p>
事務局	<p>他都市は市域全域が都市計画区域となっている場合が多い。広い地域を今後も維持していけるのかという課題はある。</p>
委員	<p>都市経営のコストという視点では、どの地域も考えていかなければならない。</p>

	<p>そういうことはこの論点には含まれていない。</p>
委員	<p>どの地域も同じように、とはいかないのでは。その中でいかに持続させるかということかと思う。</p>
委員	<p>全て均一にというのは考えていない。都市計画のコントロール手法に結果的に濃淡がつくのは問題ない。都市計画的な問題に対し解決手法として都市計画手法を用いたほうがいいのが都市計画区域となる。</p>
委員長	<p>人口規模、経済、いろいろなことを考えると、縮小せざるを得ないところも出てくるというのが正直なところかと思う。すべてが同じように発展していく将来は考えにくい。ある程度市民の方に担っていただかないといけない部分も出てくるかと思う。</p>
委員長	<p>都市経営のコスト的な観点もどこかに付け加えるべきではないかと感じた。 6ページ目に山崎地区が「第2のダム」とあるが、山崎地区ではどういう拠点が必要かご意見があればいただきたい。</p>
委員	<p>まず現行のマスタープランの理念的なことは、今回の改定でも変化はないのかと思う。総合計画とも齟齬はない。第2のダムという表現については、大きな方向性としての位置づけであれば、総合計画をベースとしてはどうかと思う。</p>
委員	<p>改定にあたっての都市づくりのポイントが、理想的なことばかりになっている。「公共交通機関優先の社会」とあるが、車社会から脱却できるのか。宍粟市には鉄道がなく、バスしかない。実際車を使うしかない。非常にいい話だと思うが、できることからやっていったほうがよいのでは。</p>
事務局	<p>非常に大きな課題かと思う。できること、できないことはある。しかし、今後ますます高齢化社会が進み、免許の返還も進んでいく。公共交通の利便性を高めていくということは、外せないテーマだと思う。 詳細にどうしていったらよいのかは、次回以降意見をいただきたい。</p>
委員	<p>参考情報まで、民間会社が山崎のバス停にクロスバイクを2台置いている。やはりそういうことも発信していくことが重要だと思っている。</p>
委員	<p>「土砂災害への対応」について、ここは砂防等のことを言うのか、地域防災計画のことを言うのか。</p>
事務局	<p>避難所や仮設建造物の確保等について示している。</p>

委員	土砂災害警戒区域など、そういうところにどう取り組むかという記載があってもいいかと思った。
委員	道路を決めるということは、中心がどこか決めるということである。混雑を解消しようとする迂回路が必要。そういう道路に沿って商業施設が来ることが予測される。まちなかの商業施設とは違うマイカーで訪れる商業施設がくるのかと思う。道路整備と合わせた商業施設がくることを予測しないといけない。観光景観ゾーンとしてもよいかと思う。
事務局	地域別構想の検討の際に、ゾーニング等も検討したい。
副委員長	アンケート結果を見ていた。4ページ目の「どのようなまちをめざすべきか」という質問に対して、「住民参加が盛んなまち」が低いので残念である。 河川改修の際も、最初は河川公園には子どもたちが触れられるものを、という話があったが、実際はそうっていない。話し合ったことが実現していない。先ほどもご意見にあったが、無理をせずにできることからやっていくことになるのかと思う。
委員	現行マスタープランの地域別構想の地域は、旧村のエリアになる。各地域の特性を活かした構想とするため、この区域になるのかと思う。地域別構想は必要かと思う。
委員	地域のコミュニティといっても難しい問題かと思う。私が自分なりに理解しているのは、「ダム」という表現は人口の流出を防ぐことだと思っている。「第1のダム」を越してしまった人が、いきなり姫路にいかずに、宍粟市に留まってもらう、ということが「第2のダム」の役割だと思う。元々在住されている方と新しく住んでいる人のコミュニティの問題もある。このマスタープランに解決策を提示できればと思う。
事務局	「第2のダム」の機能は、おっしゃるとおりである。山崎都市計画区域は、「第2のダム」の中心となる。
委員長	論点についていろいろご意見いただいた。言い足りないことは事務局のほうに個別に連絡いただきたい。
	<p>議事4) 都市計画マスタープラン策定スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料の説明 ・スケジュールを6か月後ろに延ばす方向のこと、検討委員会を5回から7回程度に変更したいことの説明

事務局	議論の内容は多岐にわたる重要なことである。山崎の地域を方向づける場となるので、ご了承いただきたい。
4. 閉会	・副委員長あいさつ